

笠岡市都市・地域総合交通戦略（素案）に対する意見等の内容及び市の考え方

番号	素案ページ	項目（該当箇所）	質問・意見の概要	市の考え方
【第2章に関するもの 7件】				
1	P11	(2)公共交通 北木島コミュニティバス・予約制タクシー（自家用有償運送）	北木島空白地有償運送の火・木が勝手に曜日がなくなった理由と、「なぜ島民には相談なしに決めるのか説明してください。」	運行計画案を、島内住民が所属する、笠岡市公共交通空白地有償運送運営協議会において審議のうえ、運行日が決定されています。運行日の要望等につきましては、今後は、笠岡市公共交通空白地有償運送運営協議会に諮り地域の実情に即した輸送サービスとなる運行計画として反映していけるよう、図ってまいります。
2			タクシーって何ですか。	タクシーは予約に応じて車両を配車し、ドアツードアに近い交通サービスを提供する運行方式です。笠岡市においては、市内5事業者、北木島では1社が自家用有償旅客運送として予約制タクシーが運行されています。
3	P14	④北木島コミュニティバス・予約タクシー（自家用有償運送）	統計データがグリスロの一切報告がない。	コミュニティバスについては、平成27年度～令和3年度の利用者数を本戦略へ掲載し、グリスロを含む予約制タクシーについても、令和3年7月～12月までの利用者数を本戦略へ掲載いたします。
4			グリスロの運行計画を島でしてください。	自家用有償旅客運送の運行計画について

				は、笠岡市公共交通空白地有償運送運営協議会を、島しょ部を会場に開催しております。今後、島しょ部の住民のご意見を運行計画に反映していけるよう、図ってまいります。
5			北木島における新モビリティの運行 北木島は毎週火曜と木曜に本土から開業医の先生を迎えており、地区間での通院という移動ニーズが生まれています。にも関わらず、グリスロは火曜、木曜ともに運休しており、通院に不便を強いられているのが現状です。運行業者に資金助成している市役所に対しては、業者へのスケジュール見直し勧告など、何らかの改善アクションを取って頂ける事を期待します。	いただきました御意見の運行日について、笠岡市公共交通空白地有償運送運営協議会で諮り島内住民の要望を運行計画へに反映していけるように、図ってまいります。
6			地区内の医院の通院時（火・木）に利用したいのでバスをよろしくお願いします。	
7	P17	2-3 都市での人の動きの把握	島の集計人数はどのようにされたのか教えてください。	島しょ部も含む市内在住15歳以上の市民6,000世帯を無作為に抽出し各世帯3通ずつ配布しアンケートを実施しております。回答いただいたアンケートを集計し人の動き

				を把握しております。本戦略にも掲載いたします。
【第4章に関するもの 1件】				
8	P30	4-2 目指す将来像	新モビリティ（キックボード）など島ではやめてください。	いただきました御意見の島しょ部での新モビリティの導入について、住民の方々や関係機関と協議し、慎重に検討してまいります。
【第5章に関するもの 7件】				
9	P41	5-4 施策展開 戦略目標 1-1 中心市街地等の周遊性を向上させる交通環境の整備	中心市街地への電動キックボード導入、電動キックボードですが、車輪径の小ささによる転倒事故の多さや乗り手の交通マナー違反が指摘されています。導入は時期尚早と思います。	中心市街地を周遊できる移動環境づくりの取組が必要であることから、いただきましたご意見を参考に電動キックボードに限らず新たなモビリティの導入の検討を関係機関と協議してまいります。
10	P42	<具体的なイメージ> フリンジパーキングによる自動車流入の抑制	今後は電気自動車が増えていくものと思いますが、新設するパーキングは充電ステーションを備えたもの、或いは将来的に充電ステーションを設置できる拡張性が担保されたものになるのでしょうか。	今後の自動車交通の傾向、社会情勢を確認しつつ、新たに設置する駐車場へは充電できる設備の設置を検討していきたいと考えます。
11	P45-46	戦略目標 1-3 観光拠点へのアクセスの向上	観光拠点へのアクセス向上と日本遺産PR 島しょ部の人口減に伴う船の乗客数の落ち込みを観光客の増加でカバーする狙いはわかりませんが、島においては、観光振興への理解は充分ではない印象です。（「静かな生活が壊される」・「外からコロナを持ち込まれたく	本市の認知度を高め、観光客が訪れることにより、フェリーや旅客船をはじめとした公共交通の利用者確保につながると考えます。 このことは、観光客を主眼とした交流人口が公共交通を利用することで、一定数の利用者の確保につながることから、島民をはじめ、島と陸を往来されるの方々にとって必要な

			<p>ない」・「観光で潤うのは一部だけ」・「年金暮らしなので観光に力入れなくても暮らしていける」など)</p> <p>観光とリンクさせての乗船客数増を狙うなら、北木島の住民に対して何度も説明会・意見交換会を開くなど丁寧な対応が求められる。</p>	<p>公共交通の維持にも大きな意義があると考えことから、住民の方々や関係機関と協議し、検討してまいります。</p>
12			<p>観光客が来るが大勢来ると困る。</p>	
13	P48	<p>戦略目標 2-2 快適でスムーズな交通環境の整備</p>	<p>待合所の整備・バスの待留所（人が乗っていないのにいつまでこんな無駄なことをしているのか）</p>	<p>利用者が少なく住民ニーズに適していない公共交通サービスについては、効率化しながら必要な改善を図ってまいります。老朽化している待合環境について、関係機関により改修等を行い、安全や利便の確保を図っていくものです。</p>
14			<p>伏越港の待合所が暑い、くさい、笠岡市の管理はどうなっているんでしょうか。</p>	<p>伏越港の待合所の管理が不十分な御指摘ありがとうございます。</p> <p>御指摘いただきました、待合所の管理については美化や空調設備については、清掃回数を増加させる等検討したいと考えます。</p>
15	P50	<p>戦略目標 3-2 既存公共交通の利便性向上</p>	<p>船舶の導入必要ありません。2035年までとか無計画すぎる。</p>	<p>現在、運航している海上公共交通の船舶が老朽化しており、次の新たな船舶の導入を検</p>

		<p><取組内容> バリアフリーに対応した 車両・船舶の導入</p>		<p>討していかないと運航便に影響し移動が不便 となります。交通事業者と笠岡市で新船舶を 計画的に導入し、海上交通の利便性を確保し ていくものです。</p>
【第7章に関するもの 1件】				
16	P73	(2)計画の推進体制	<p>計画の推進体制（島はできていません。話 合いの機会を設けること。）</p>	<p>本戦略の事業の取組に向けて、関係各者と 協力体制を構築していくとともに、地域住民 等、交通事業者、行政の三者で連携を図っ ていきたいと考えます。</p>
【資料編に関するもの 1件】				
17	P78	笠岡市都市・地域総合交 通戦略策定の流れ	<p>協議会の会議録の公開をすること。</p>	<p>笠岡市都市・地域総合交通戦略協議会の会 議につきまして原則として公開としているこ とから、会議録につきましては、市ホームペ ージ等で公開したいと考えております。</p>
【その他 4件】				
18	—	—	<p>税金の用途がはっきりしないのに、委託と か言わないでください。</p>	<p>御意見ありがとうございました。今後の業 務の参考とさせていただきます。</p>
19	—	—	<p>島の住民に相談もしないでパブリックコメ ントとか言わないでください。</p>	
20	—	—	<p>島の方に説明もしないで計画しないでくだ さい。</p>	
21	—	—	<p>勝手に計画をしないで下さい。</p>	

※ このほか、本意見募集の対象外である御意見を2件いただいています。

※ 寄せられた御意見につきましては、特定の個人や組織等の識別につながる箇所等を一部編集して掲載しているものがあります。